

# IC2005 論文投稿要項

関谷 勇司\* , 植原 啓介† , 永見 健一‡

## 概要

1996年に始まった本コンファレンスでは、驚くべき速度で、進化を続けていくインターネット技術の、最先端の課題に取り組んだ論文が毎年発表されております。本年もインターネットコンファレンス 2005 を 7 組織の主催により開催する運びになりました。本年は昨年までのコンファレンスにも増して、質の高いかつ幅の広い課題を扱っていきたいと思っております。奮って論文の投稿をお願い申し上げます。

## 1 開催にあたって

DSL 技術、FTTH 技術さらに高速無線 LAN 技術を用いた常時接続を前提としたブロードバンドネットワークの環境が一般家庭に急速に普及し、インターネットは、WEB 技術以来の大きな変革を経験しようとしています。ブロードバンドユービキタス環境と IPv6 技術の確立と普及は、Peer-to-Peer 型のアプリケーションの展開をいよいよ本格化しようとしており、さまざまな革新的なアプリケーションが研究開発されています。当然のように、このブロードバンドのネットワーク環境を支える大容量高機能ネットワーク基盤技術に関する研究開発もますます加速しています。こうした中で、インターネット技術で接続されたノードを効果的に利用してハイパフォーマンスコンピューティングが実現されてきていることも、一つの成果の一つでしょう。一方で、日々、DOS 攻撃などのセキュリティ的な脅威への対応はネットワー

クの運用者のみならず、一般社会的にも非常に重要な課題として認識されるようになっております。1996年に始まった本コンファレンスでは、驚くべき速度で、進化を続けていくインターネット技術の、最先端の課題に取り組んだ論文が毎年発表されております。

## 2 コンファレンスのテーマ

インターネットコンファレンス 2005 では、インターネットテクノロジーに関する論文を幅広く募集します。プログラム委員会は以下に示すようなテーマを例として考えましたが、これに限るものではありません。

### 2.1 テーマの例

インターネットアプリケーション、グリッドコンピューティング、ネットワークアーキテクチャ、プロトコルデザイン、経路制御、QoS 保証、マルチキャスト、モビリティ、ホームインターネット、インターネットアプライアンス、トラフィック解析、トラフィック制御、セキュリティ、認証、アクセス制御、WWW 技術、情報検索、モバイルエージェント、管理、運用、測定技術、性能評価、分散処理、オペレーティングシステム、アクセシビリティ

## 3 論文募集

インターネットの次世代を担う質の高い論文の応募を期待します。応募された論文は、新規性や有用性があるか、実用的なシステムを実現してい

\*東京大学 情報基盤センター

†慶應義塾大学

‡インテックネットコア

るか、アイデアがきちんと実装あるいは評価されているか、何か新しい発見があったか、という観点からプログラム委員会で査読を行い、採否を決定いたします。

論文発表は、発表自体に重点を置く Reporting Presentation と、質疑応答に重点をおく Discussing Presentation に分けて行います。発表形式は論文の質とは無関係です。どちらを希望するかを論文投稿時にご記入ください。ただしプログラム委員会で決定により、ご希望にそえない場合もあります。なお、論文集においては両者の区別はありません。

## 4 論文誌との協調

IC2005 で発表された論文の中で優秀な論文はプログラム委員会で推薦し、論文誌特集号を企画する予定です。

## 5 著作権等

投稿された論文の著作権は著者に帰属します。ただし、著者は採択された論文の論文集およびインターネットコンファレンス 2005 のホームページへの掲載を許諾するものとします。

## 6 デモ展示

インターネットコンファレンス 2005 ではデモ展示も募集します。会場にはインターネット接続 (IPv4 および IPv6) が用意される予定です。特に論文発表に伴ったデモ展示を歓迎します。論文投稿時にデモ展示を希望するかをご記入ください。

論文発表を伴わないデモを希望される場合は下記までお問い合わせいただき、別途お申し込みください。

## 7 日時と場所

### 7.1 日時

2005 年 10 月 27 日 (木) ~ 10 月 28 日 (金)

### 7.2 場所

東京大学 山上会館  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
地図を図 1 に示します。



図 1: 地図

また、表を表 1 に示します。

表 1: 特に意味のない表

A	65
B	60

## 8 主催

- 財団法人インターネット協会 (IAJapan)
- 情報処理学会 高品質インターネット研究会 (QAI)
- 情報処理学会 ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)

- 日本学術振興会産学協力研究委員会インターネット技術第 163 委員会 (ITRC)
- 日本ソフトウェア科学会インターネットテクノロジー研究会 (JSSST)
- 日本 UNIX ユーザ会 (jus)
- WIDE プロジェクト (WIDE)

## 9 協賛 (五十音順) : (予定)

- IEEE Communications Society Japan Chapter
- グリッド協議会
- サイバー関西プロジェクト (CKP)
- 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (OS)
- 情報処理学会 分散システム/インターネット運用技術研究会 (DSM)
- 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会 (DPS)
- 情報処理学会 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 (MBL)
- 情報処理学会 ユビキタスコンピューティングシステム研究会 (UBI)
- 電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)
- 電子情報通信学会 インターネット技術とその応用時限研究会 (TAI)
- 電子情報通信学会 情報ネットワーク研究会 (IN)

## 参考文献

- [1] Ryuji Somegawa, Kenjiro Cho, Yuji Sekiya, and Suguru Yamaguchi. The Effects of Server Placement and Server Selection for Internet Services, IEICE Trans. on Commun, Vol.E86-B No.2, 2003 年 2 月. p.542-551.
- [2] Nevil Brownlee/CAIDA, NeTraMet, <http://www.caida.org/tools/measurement/netramet/>
- [3] Nevil Brownlee, Kc Claffy, and Evi Nemeth, DNS Root/gTLD Performance Measurement, USENIX LISA 2001, San Diego, CA, 2001 年 12 月
- [4] Ted Hardie, Distributing Authoritative Name Servers via Shared Unicast Addresses, Request for Comments 3258, Internet Engineering Task Force, 2002 年 4 月.